

令和6年分 町 県 民 税 簡 易 申 告 書

令和 年 月 日	個 人 番 号			
現 住 所			業 種 又 職 業	
1月1日現在の住所			電 話 番 号	
フリガナ		生 年 月 日	世帯主の氏名	続 柄
氏 名		大正・昭和・平成 年 月 日		

令和6年1月～令和6年12月までの1年間における収入の状況等については下記のとおりです。

◎ 1. 収入がなかった 又は 2. 収入があった の該当する方に○をし、必要事項を記入してください。

1. 収入がなかった(非課税年金のみの収入があった場合はこちらに該当)

理 由(下記 ア～オより選んでください。)

ア 下記の者に扶養されていた。 氏 名 続 柄 〔同居・別居・単身赴任中(年 月までの予定)〕 別居・単身赴任中の場合はその住所 〔 〕	ウ 学生だった。 大 学・短 大・専門学校・その他()
イ 非課税の年金収入があった。 非課税年金(遺族年金・障害年金・傷病者年金)	エ 働いていない。(年 月頃から) ◎ (病気・けが)のため → 全治 ヶ月 ◎ (失業中・専業主婦・育児休業)のため ◎ 預金で生活していた。
オ その他(上記のいずれにも該当しない方は、この欄に記入してください。)	

2. 収入があった

不動産所得・事業所得(営業・農業)等がある場合は、収支内訳書の提出が必要になりますので、町または税務署にて申告してください。

また、給与・年金収入があるが合計収入額があまり大きくなく、所得税が源泉徴収されていない場合、または一時所得、その他の所得がある場合は下記に記入してください。

収入の内容

①	支 払 者 名	電 話 番 号	収 入 金 額
給与・年金			円
			円
	合 計		円
② 一時所得			円
③ そ の 他			円

3. 所得から差し引かれる金額に関する事項

④ 社会保険料控除	社会保険の種類		支払った保険料		
			円		
			円		
			円		
合　計		円			
⑤ 生命保険料控除	新生命保険料の計		旧生命保険料の計		
	円		円		
	新個人年金保険料の計		旧個人年金保険料の計		
	円		円		
	介護医療保険料の料				
円					
⑥ 医療費控除	支払医療費		保険金などで補填される金額		
	円		円		
⑦ 地震保険料控除	地震保険料の計		旧長期損害保険料の計		
	円		円		
⑧ 寄附金控除	寄附先の所在地・名称		寄附金額		
			円		
⑨ 寡婦・ひとり親勤労学生控除	☐ 寡婦控除		☐ ひとり親控除	☐ 勤労学生控除	
	☐ 死別 ☐ 生死不明 ☐ 離婚 ☐ 未帰還 ※扶養ありは⑫も記載		(学校名)		
	※⑫も記載				
⑩ 障害者控除	氏名		障害の程度	級度	
	氏名		障害の程度	級度	
⑪ 配偶者控除・配偶者特別控除・同一生計配偶者	配偶者の氏名	生年月日	T・S・H 年　月　日	配偶者個人番号	
		配偶者の合計所得金額	円		
⑫ 扶養控除または16歳未満の扶養親族	氏　名	生年月日	同居・別居の区分	続柄	別居の場合の住所
		個人番号			
		T・S・H・R　年　月　日	☐ 同居		
			☐ 別居		
		T・S・H・R　年　月　日	☐ 同居		
			☐ 別居		
		T・S・H・R　年　月　日	☐ 同居		
			☐ 別居		
	T・S・H・R　年　月　日	☐ 同居			
		☐ 別居			

※ 国民年金保険料等について控除を受ける場合には証明書を同封してください。

※ 生命保険料、地震保険料について控除を受ける場合には証明書を同封してください。

※ 支払った医療費を集計し記入して下さい。
補填された金額の証明の写しを同封して下さい。

※ 地震保険料：地震保険料控除の対象となる保険料・掛金。

※ 発行された寄附金控除の証明となる受領書などを同封して下さい。

※ 旧長期損害保険料：保険期間や共済期間が10年以上で、満期返戻金ありのもの。（平成18年12月31日までに入入したものに限る）